

日本福祉大学後援会
第35回 定例総会
議案書

2023年6月24日(土) 14:30~15:15
ハイブリッド開催

◆議 事

1. 2022年度事業報告(案)について
2. 2022年度決算(案)について
3. 2023年度事業計画(案)について
4. 2023年度予算(案)について
5. 2023年度役員(案)について

1. 2022年度事業報告（案）について

(1) 学生の諸活動への援助

対面での大学祭が行われることもあり、後援会としても支援を行った。また、特に目覚ましい活躍を残した強化指定部等に対する表彰を継続して行った。また、キャリア形成に関わる有料講座への受講料補助を新たに行い、学生が主体的に学ぶ姿勢を後押しできるような助成を行った。

①学生活動支援助成：助成総額 13,231,563 円

コロナにおける制限がある中でも工夫して考えられた様々な学生支援事業に対して助成を行った。学生への褒賞・奨励では、地域貢献活動やスポーツ等で活躍した学生に表彰を行った。

<助成事業一覧>

- ・サークル強化育成事業助成：4,600,000 円
- ・全サークルを対象とした高額備品等購入助成：2,563,006 円
- ・イベント事業：2,200,000 円
- ・サークル・課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励：1,380,000 円
- ・短期留学・語学検定料：2,393,517 円
- ・課外活動助成事業消耗品費：95,040 円

②就職指導助成（就職活動支援資料や就職セミナーの開催等）：助成額 2,957,813 円

全3年生を対象に学内ガイダンスやビジネスマナー等を記載した「Future Note」の制作費に助成した。また、学内で開講するキャリア育成プログラムの受講費助成（1人あたり最大3,000円）およびSPI（採用試験で一般的に用いられる適性検査）講座受講料補助を行った。

③通信教育部助成（通信教育部学生の学習支援）：助成額 700,000 円

通信課程に在学する学生が全国各地で開催する地域学習会の運営経費補助および障害学生向けの情報保障等に対して助成を行った。

④奨学助成（経済援助給付型奨学金の一部として）：助成額 2,000,000 円

大学の独自奨学制度（日本福祉大学経済援助給付奨学金）の一部として助成を行った。

- ⑤資格取得支援助成（資格取得に際する対策等への支援）：助成額 5,008,760 円
各種国家資格取得のための対策講座に以下のとおり助成を行った。

<助成事業一覧>

- ・ 社会福祉学部における社会福祉士および精神保健福祉士国家試験の合格率向上に向けた取り組み：3,214,000 円
- ・ 看護学部における国家試験対策講座支援：980,000 円
- ・ 健康科学部リハビリテーション学科における国家試験対策支援：814,760 円

《参考：（）内は学内新卒合格率》

- ・ 第 35 回社会福祉士国家試験：新卒合格者 187 名（合格率 60.9%）
通学課程新卒合格者数 全国大学 1 位
- ・ 第 25 回精神保健福祉士国家試験：新卒合格者 23 名（合格率 85.2%）
通学課程新卒合格者数 全国大学 5 位
- ・ 第 112 回看護師国家試験：新卒合格者 84 名（合格率 90.3 %）
- ・ 第 58 回理学療法士国家試験：新卒合格者 31 名（合格率 91.2 %）
- ・ 第 58 回作業療法士国家試験：新卒合格者 34 名（合格率 97.1 %）
- ・ 第 35 回介護福祉士国家試験：新卒合格者 18 名（合格率 100%）

- ⑥フィールドワーク助成（大学と協定を結ぶ団体等と共同で実施するフィールドワーク事業に対する支援）：オンラインを中心に実施されたため、後援会としての助成には至らなかった。

- ⑦文化・スポーツ応援活動事業（学生同士が互いに応援し、励ましあう文化を醸成できるよう、関連する経費への援助）：コロナ禍での活動制限の影響もあり、想定した事業の実施には至らなかった。

- ⑧特別支援事業（年度途中で大学が計画した学生支援事業や、各学部等からの申請に基づく諸事業に対する助成）：助成額 3,600,140 円
以下のとおり、学生の学びに対する支援や有事の際の安否確認システム等に関する助成を行った。

<助成事業一覧>

- ・ 本学野球場利用部活動における環境の整備について：1,485,000 円
- ・ 図書館資源を活用したレポート作成力向上の取り組み：1,259,500 円
- ・ 学生を対象とした発災時における安全確認を目的とした安否確認システムの導入：855,640 円

(2) 会員と大学との交流

コロナの状況等に留意しつつ、実施可能な形で事業を進めた。2022 年度もオンラインを活用した後援会定例総会や保護者懇談会を実施し、日本福祉大学社会福祉セミナーも YouTube 配信で行うなど、コロナ禍に応じた形での取り組みとした。また、4 年ぶりに法人会員向けの講演会を実施した。

- ①6 月 25 日（土）第 34 回後援会定例総会と後援会幹事会をハイブリッド（対面＋オンライン）で開催し、計 245 名が参加した。
- ②7 月以降全国各地でセミナーを 5 回（長野、浜松、大阪、東京、石川）開催し、計 606 名が参加した。
- ③7 月 31 日（日）保護者会員を対象とした就職説明会を開催し、計 212 名が参加した。
- ④学部と共同開催の「学部別保護者懇談会」に計 385 名が参加した。
- ⑤3 月 11 日（土）法人会員向け特別企画を開催し、法人会員 9 社をはじめ、63 名が参加した。
テーマ：「初対面の方等と円滑なコミュニケーションをとれるような術を学べるセミナー」
・昨年度より大学セミナーの開催数を増やしたことが要因となり、上記①～④に参加いただいた会員は総計 1,511 名となり、昨年度よりも 700 名以上多い出席となった。

(3) 広報・通信事業

会員への情報発信を目的に、保護者向け就職情報の掲載を行った。

- ①後援会会報誌『エスパシオ』34・35 号を発刊し、ホームページでの公開を行った。
- ②通学課程新入生保護者向け『別冊エスパシオ』34 号を後援会ホームページで公開した。
- ③後援会ホームページの充実を図った。
 - ・掲載コンテンツ：（保護者向け）就職情報の掲載
 - ・動画コンテンツ：大学近況報告

(4) 記念品贈呈事業

通学課程の新入生全員に下記の書籍を入学記念品として贈呈した。

- ・書籍：『日本の福祉を築いたお坊さん—日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語』（星野貞一郎著、中央法規、2011）



(5) その他

大学の周年事業（2023 年度に創立 70 周年）に向け、特別会計（大学記念事業資金積立）に 1,500 万円を積み立てた。

以上

2. 2022年度決算（案）について

【一般会計の部】（単位：円）

収入の部				2022年4月1日～2023年3月31日
項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
会 費	64,997,500	65,575,000	△ 577,500	普通会員1,399名、法人会員57社
雑 収 入	1,000	465	535	利息
前年度繰越金	12,428,810	12,428,810	0	
合 計	77,427,310	78,004,275	△ 576,965	

支出の部				2022年4月1日～2023年3月31日
項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
1. 運営費	2,026,180	2,167,152	△ 140,972	
1) 役員会費	200,000	261,295	△ 61,295	交通費等
2) 人件費	1,676,180	1,676,180	0	事務員給与
3) 印刷費	100,000	191,290	△ 91,290	案内状、封筒印刷費等
4) 事務費	50,000	38,387	11,613	振込手数料等
2. 事業費	23,900,000	19,392,686	4,507,314	
1) 総会・講演会費	4,500,000	4,170,071	329,929	案内発送、講師料、新聞広告費等
2) 会報費	8,300,000	7,649,682	650,318	会報「エスバシオ」制作費（34号、34号別冊、35号）
3) 出版物郵送費	1,000,000	565,774	434,226	会報「エスバシオ」35号郵送費
4) 地域講演会費	8,000,000	5,419,925	2,580,075	大学セミナー会場開催費、社会福祉セミナー開催費、学部別保護者懇談会開催費、Uターン就職セミナー開催費等
5) 法人向け事業費	800,000	634,634	165,366	法人会員向けセミナー開催費
6) ホームページ制作費	200,000	0	200,000	
7) 動画コンテンツ制作費	1,100,000	952,600	147,400	
3. 助成事業費	33,650,000	28,501,124	5,148,876	
1) 学生活動支援助成費	16,000,000	13,231,563	2,768,437	課外活動助成費、大学祭・キャンパス祭助成、語学検定料助成費等
2) 就職指導助成費	3,650,000	2,957,813	692,187	就職支援冊子制作費、CDP講座受講助成等
3) 通信教育部助成費	700,000	700,000	0	通信生スクーリング助成費等
4) 奨学助成費	2,000,000	2,000,000	0	奨学助成費原資の一部
5) 資格取得支援助成費	5,000,000	5,008,760	△ 8,760	資格対策講座受講費等
6) フィールドワーク助成費	300,000	0	300,000	
7) 文化・スポーツ応援活動事業費	300,000	0	300,000	
8) 特別支援事業費	4,500,000	3,600,140	899,860	年度途中で申請された学生支援事業助成等
9) 入学記念品費	1,200,000	1,002,848	197,152	入学記念品購入費
4. 予備費	2,851,130	0	2,851,130	
5. 大学記念事業資金積立	15,000,000	15,000,000	0	大学記念事業積立資金への繰り入れ
6. 特別学生支援事業費	0	0	0	
7. 次年度繰越金	0	12,943,313	△ 12,943,313	
合 計	77,427,310	78,004,275	△ 576,965	

【特別会計の部】（単位：円）

①大学記念事業資金積立金

収入の部

項 目	決 算 額	備 考
前年度繰越金	156,256,514	前年度の大学記念事業資金積立金合計-残高証明書発行手数料
当年度繰入金	15,000,000	
利息収入	2,487	
合計	171,259,001	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
残高証明書発行手数料	1,624	
合計	1,624	

大学記念事業資金積立金 合計 171,257,377 (A)

②特別学生支援助成費

収入の部

項 目	決 算	備 考
前年度繰越金	100,000,585	
当年度繰入金	0	
利息収入	1,695	
合計	100,002,280	

支出の部

項 目	決 算	備 考
残高証明書発行手数料	550	
合計	550	

特別学生支援助成費 合計 100,001,730 (B)

特別会計の部合計 271,259,107 (A) + (B)

【2022年度後援会総資産高】（単位：円）

一般会計の部 次年度繰越金	12,943,313
特別会計の部合計	271,259,107
総 資 産 額	284,202,420

日本福祉大学後援会監査報告書

2023年5月13日（土）

日本福祉大学後援会
会長 安川 彰 吉 殿

監査 平澤 正史

監査 福田 仁志

日本福祉大学後援会の2022年度決算にかかる決算諸表ならびに諸帳票について監査を行いました。

監査の結果、計算書類ならびに諸帳票は、適正に記録されていることを認めます。

以上、ご報告いたします。

以 上

3. 2023年度事業計画（案）について

昨年度一定の成績を残した特別強化指定部の活動について更に強化を図るべく、支援の強化を行う。また、コロナ禍によって停滞した学生活動を活発化させることを目的とし、これまで以上に学生活動の支援に重きを置き、学生の主体性を尊重しつつも、本会をはじめ大学の教職員からも働きかけを行い、活動が活発になるよう支援する。また企業・法人等（法人会員）との連携を一層強化し、教育および研究に関わる産学連携の促進にも寄与する。

1) 学生の諸活動への援助

(1) 学生への助成事業

①学生活動支援助成

- ・サークル強化育成事業助成
- ・サークル・課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励
- ・全サークルを対象とした高額備品購入助成
- ・イベント事業への助成（各キャンパスでの大学祭等）
- ・海外研修・調査奨励事業（オンラインを含む）への助成
- ・語学検定料助成
- ・短期留学（オンラインを含む）助成

②就職指導助成

- ・就職活動支援資料助成
- ・CDP（キャリアデベロップメントプログラム）講座受講料の割引（1人3,000円の助成）

③通信教育部助成（地域学習会をはじめ障害学生用テキストデータの作成等）

④奨学助成（経済援助給付型奨学金の一部として）

⑤資格取得支援助成（資格取得に際する対策等への支援）

⑥フィールドワーク助成（大学と協定を結ぶ団体等と共同で実施するフィールドワーク事業に対する支援）

⑦文化・スポーツ応援活動事業（学生同士が互いに応援し、励ましあう文化を醸成できるよう、関連する経費への援助）

⑧特別支援事業（年度途中で大学が計画した学部横断的な学生支援事業に基づく諸事業に対して、弾力的な援助を行う）

(2) 大学と共催で学生活動支援助成事業贈呈式を開催する（12月10日（日）開催予定）。

2) 会員と大学との交流

(1) 後援会幹事会 (6月24日(土) および12月10日(日) 予定) の開催

(2) 後援会第35回定例総会 (6月24日(土)) の開催

(3) 2023年度日本福祉大学後援会実施事業一覧 (大学セミナー等)

開催日	開催地	テーマ	講師
6月24日(土)	名古屋	多世代コミュニティが創る 未来の街づくり	・松田智生 客員教授
7月8日(土)	福井	ダウン症の娘と共に生きて～ 翔子とのこれまでのあゆみ～	・金澤泰子 客員教授 ・金澤翔子 客員准教授
7月9日(日)	岐阜	保育・子育てを豊かにする むずかしくないアートの話	・江村和彦 学部長・教授
7月15日(土)	富山	宇宙医学からみた老化予防 運動	・西村直記 学部長・教授
7月16日(日)	金沢	ヤングケアラー～見過ごされ てきた子どもたち～	・野尻紀恵 学長補佐・教授
7月29日(土)	オンライ ン	日本福祉大学の就職支援・制 度ご紹介セミナー	・鈴木健司 就職部長 ・就職協定を締結した自治体 等の担当者
9月2日(土)	静岡	福祉教育・ボランティア学習 研究の地平	・小林洋司 准教授
9月3日(日)	四日市	グローバルな未来に向けた ハイブリッド学習	・佐藤慎一 学部長・教授
9月30日(土)	飯田	南信州から考えるこどもの 居場所づくりや支援のあり方	・湯浅誠 特定非営利活動法 人全国こども食堂支援センタ ー・むすびえ理事長、他
10月14日(土)	東京都 千代田区	しあわせのカタチ～子どもの しあわせ、大人のしあわせ～	・角野栄子 客員教授 ・阿川佐和子 作家・エッセ イスト

(4) 学部別の保護者懇談会等を開催する。

キャンパス	学部	開催日	開催形式
美浜	社会福祉学部	11月4日(土) PM	対面形式
	スポーツ科学部	11月4日(土) PM	ハイブリッド形式
	教育・心理学部	9月9日(土) AM	対面形式
半田	健康科学部	4月23日(日) AM・PM	ハイブリッド形式
東海	経済学部	9月9日(土) AM・PM	対面形式
	国際福祉開発学部	9月16日(土) PM	対面形式
	看護学部	9月16日(土) AM	対面形式

- (5) 法人会員の拡充に向け、大学の研究部門と連携し、「研究」をキーワードにした企業・法人との交流企画を通じて、会員の増加を図る。それらの取り組みを通じ、今年度も法人会員を対象とした事業を計画する。

3) 広報・通信事業

- (1) 後援会会報誌『エスパシオ』を発刊し、後援会ホームページで公開する。
- (2) 通学課程新入生保護者向け学生生活ガイド『別冊エスパシオ』を後援会ホームページで公開する。
- (3) 後援会ホームページの充実
掲載コンテンツ：大学近況報告、保護者向け就職情報の掲載等
- (4) はじめてのふくしの送付
本学が提唱する「ふくし」の広さと奥深さを様々な視点や事例を参考に、分かりやすくまとめた冊子『はじめてのふくし』を会員にお送りし、福祉への理解を深めていただく。

4) 記念品贈呈事業

通学課程の新入生全員に下記の入学記念品を贈呈する。

- ・書籍：『日本の福祉を築いたお坊さん—日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語』



(星野貞一郎著、中央法規、2011)

5) 備考

- ・大学後援会予算科目の見直しを行い、構成を変更する。

以上

4. 2023年度予算（案）について

【一般会計の部】（単位：円）

収入の部

2023年4月1日～2024年3月31日

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
会 費	60,975,000	65,575,000	△ 4,600,000	普通会員1,256名、法人会員60社
雑 収 入	500	465	35	利息
前年度繰越金	12,943,313	12,428,810	514,503	
合 計	73,918,813	78,004,275	△ 4,085,462	

支出の部

2023年4月1日～2024年3月31日

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
1. 運営費	2,250,000	2,167,152	82,848	
1) 役員会費	300,000	261,295	38,705	交通費等
2) 人件費	1,700,000	1,676,180	23,820	事務員給与
3) 印刷費	200,000	191,290	8,710	案内状、封筒印刷費等
4) 事務費	50,000	38,387	11,613	振込手数料、事務用品等
2. 事業費	20,500,000	19,392,686	1,107,314	
1) 総会・講演会費	5,500,000	4,170,071	1,329,929	案内発送、講師料、新聞広告費等 ※信書扱い増
2) 会報費	6,500,000	7,649,682	△ 1,149,682	会報「エスパシオ」「はじめてのふくし」制作費
3) 出版物郵送費	1,000,000	565,774	434,226	会報「エスパシオ」「はじめてのふくし」郵送費
4) 地域講演会費	6,500,000	5,419,925	1,080,075	大学セミナー会場開催費、社会福祉セミナー開催費、学部別保護者懇談会開催費、Uターン就職セミナー開催費等
5) 法人会員関連事業費	800,000	634,634	165,366	法人会員向けセミナー開催費
6) ホームページ制作費	200,000	0	200,000	
7) 動画コンテンツ制作費	0	952,600	△ 952,600	
3. 助成事業費	36,200,000	27,498,276	8,701,724	前年度決算額欄の、3. 助成事業費と4. 入学記念品費の合計が2022年度助成事業費の決算額となる（2023年度から項目を分けたため）
1) 学生活動支援助成費	20,000,000	13,231,563	6,768,437	課外活動助成費、大学祭・キャンパス祭助成、語学検定料助成費等
2) 就職指導助成費	3,500,000	2,957,813	542,187	就職支援冊子制作費、CDP講座受講助成等
3) 通信教育部助成費	700,000	700,000	0	通信生スクーリング助成費等
4) 奨学助成費	2,000,000	2,000,000	0	奨学助成費原資の一部
5) 資格取得支援助成費	5,500,000	5,008,760	491,240	資格対策講座受講費等
6) フィールドワーク助成費	500,000	0	500,000	
7) 特別支援事業費	4,000,000	3,600,140	399,860	年度途中で申請された学生支援事業助成等
4. 入学記念品費	1,200,000	1,002,848	197,152	入学記念品購入費
5. 予備費	1,768,813	0	1,768,813	文化・スポーツ応援活動事業費等
6. 大学記念事業資金積立	12,000,000	15,000,000	△ 3,000,000	大学記念事業積立資金への繰り入れ
7. 特別学生支援事業費	0	0	0	特別会計への送り出しおよび引き出し用項目として使用（今年度は予算執行予定なし）
8. 次年度繰越金	0	12,943,313	△ 12,943,313	
合 計	73,918,813	78,004,275	△ 4,085,462	

【特別会計の部】（単位：円）

①大学記念事業資金積立金

収入の部

項 目	予 算	備 考
前年度繰越金	171,257,377	前年度（2022年度）期末残高
当年度繰入金	12,000,000	
利息収入	2,500	普通預金利息＋定期預金利息
合計	183,259,877	

支出の部

項 目	決 算	備 考
残高証明書発行手数料	1,624	
合計	1,624	

大学記念事業資金積立金 合計	183,258,253	(A)
----------------	-------------	-----

②特別学生支援助成費

収入の部

項 目	予 算	備 考
前年度繰越金	100,001,730	
当年度繰入金	0	
利息収入	1,500	普通預金利息＋定期預金利息
合計	100,003,230	

支出の部

項 目	決 算	備 考
残高証明書発行手数料	550	
合計	550	

特別学生支援助成費 合計	100,002,680	(B)
--------------	-------------	-----

特別会計の部 合計	283,260,933	(A)+(B)
-----------	-------------	---------

【2023年度後援会総資産高】（単位：円）

一般会計の部 次年度繰越金	0
特別会計の部 合計	283,260,933
総資産額	283,260,933

<2023年度予算書の変更点（2022年度予算書からの変更点）>

- ① 特別会計の部において、事業ごとに収入と支出の部を掲載した。
以下、支出の部内における項目の削除、移設、新設について記載した。
 - ② 2. 事業費の5) 法人向け事業費の名称を法人会員関連事業費とし、産学連携研究の更なる推進を目指すこととした。
 - ③ 3. 助成事業費の7) 文化・スポーツ応援活動事業費を削除した。
 - ④ 3. 助成事業費の9) 入学記念品費を大項目に移設した。
- ※上記項目の削除、移設、新設に伴い、小項目番号を変更した。

5. 2023年度役員（案）について

本会会則第5条、第6条及び第8条に基づき役員の変更を以下の通り提案する。

1) 退任役員

幹事	河村 和昌	保護者
幹事	山尾 祐子	保護者
幹事	井上 玲子	保護者
幹事	福田 秀志	日本福祉大学教職員
幹事	山本 和子	日本福祉大学教職員
監査	平澤 正史 ※	保護者
幹事	各務 元浩 ※	保護者

2) 新任役員

幹事	平澤 正史 ※	保護者
幹事	梶田 明敬	保護者
幹事	山野井 陵子	保護者
幹事	羽田 ゆき	保護者
幹事	森田 美奈子	保護者
幹事	佐々木 みづき	保護者
幹事	岩田 浩希	保護者
幹事	岡元 愛	保護者
監査	各務 元浩 ※	保護者
幹事	小松 理佐子	日本福祉大学教職員
幹事	大口 将	日本福祉大学教職員

※役職の異動

3) 2023 年度役員一覧

会長	安川 彰吉	元愛知製鋼株式会社 取締役会長	留任
副会長	岩切 道郎	名古屋鉄道株式会社 専務執行役員	留任
副会長	榊原 康弘	半田商工会議所 顧問	留任
副会長	中山 衣代	保護者	留任
副会長	後藤 明朗	保護者	留任
幹事	平澤 正史	保護者	新任(監査から役職異動)
幹事	出口 晴美	保護者	留任
幹事	伊藤 大	保護者	留任
幹事	河田 礼美	保護者	留任
幹事	榊原 和広	保護者	留任
幹事	道下 基巳乃	保護者	留任
幹事	平敷 安希博	保護者	留任
幹事	日高 友美	保護者	留任
幹事	福田 淳一	保護者	留任
幹事	臼井 邦彰	保護者	留任
幹事	山本 るりこ	保護者	留任
幹事	廣川 和美	保護者	留任
幹事	尾崎 祐子	保護者	留任
幹事	岩田 律子	保護者	留任
幹事	山田 祐輔	保護者	留任
幹事	加藤 京子	保護者	留任
幹事	後藤 武志	保護者	留任
幹事	樋口 敏朗	保護者	留任
幹事	梶田 明敬	保護者	新任
幹事	山野井 陵子	保護者	新任
幹事	羽田 ゆき	保護者	新任
幹事	森田 美奈子	保護者	新任
幹事	佐々木 みづき	保護者	新任
幹事	岩田 浩希	保護者	新任
幹事	岡元 愛	保護者	新任
幹事	小松 理佐子	日本福祉大学教職員	新任
幹事	大口 将	日本福祉大学教職員	新任
幹事	亀山 哲也	日本福祉大学教職員	留任
監査	福田 仁志	保護者	留任
監査	各務 元浩	保護者	新任(幹事から役職異動)
相談役	鴻池 一季	元株式会社鴻池組名誉会長	留任

日本福祉大学後援会会則

第1章 総則

第1条

本会は、日本福祉大学後援会と称し事務局を日本福祉大学研究本館内に置く。

2 本会は、必要に応じ地方に支部を置くことができる。

第2章 目的及び事業

第2条

本会は、日本福祉大学の教育と研究活動に対する後援・援助及び文化的諸事業等をとおして、大学の充実・発展を図り、もって我が国の文化の向上に寄与することを目的とする。

第3条

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 大学の教育・研究活動への後援
- (2) 学生の諸活動への援助
- (3) 文化的諸事業の実施
- (4) 大学と会員との交流
- (5) その他必要と認められる事業

第3章 組織及び役員

第4条

本会は、本会の趣旨に賛同した次の会員をもって組織する。

- (1) 普通会員
 - ① 普通会員会費を納入した学生の保護者
 - ② 普通会員会費を納入したその他の者
- (2) 法人会員 法人会員会費を納入した者
- (3) 特別会員 本会の事業に対して、専門的な協力を行う者
- (4) 賛助会員 寄付金等により本会を援助した者

第5条

本会に次の役員等を置く。

- (1) 会長 / 1名
 - (2) 副会長 / 若干名
 - (3) 幹事 / 若干名
 - (4) 監査 / 2名
 - (5) 支部長 / 各支部に1名
 - (6) 相談役 / 若干名
 - (7) 顧問 / 若干名
 - (8) 事務局長 / 1名
- 2 前項第1号から第4号の者をもって役員とする。
 - 3 本会に名誉会長をおくことができる。

第6条

役員等は普通会員・法人会員・特別会員の中から選任する。

- 2 役員等の選任は、次の方法による。
 - (1) 会長、副会長、幹事及び監査は、総会において選任する。
 - (2) 名誉会長は、会長が委嘱する。
 - (3) 相談役及び顧問は、会長が委嘱する。
 - (4) 支部長は、会長が委嘱する。
 - (5) 事務局長は、会長が任命する。
- 3 前第1項及び前第2項にかかわらず、会長は総会の承認をへて大学教職員の中から3名程度を幹事に委嘱することができる。

第7条

役員等の任務は次の通りとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、定例総会、臨時総会、幹事会を招集し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 幹事は、正副会長とともに本会の事業の企画・遂行に必要な立案並びに処理にあたる。
- (4) 監査は、本会の会計監査にあたる。
- (5) 支部長は、地方会員の連絡にあたり、本会の事業に協力する。
- (6) 相談役は、本会への助言等にあたる。
- (7) 顧問は、会長の諸問に応じる。
- (8) 事務局長は、会長の命を受け、事務を統括する。

第8条

役員等の任期は1年とする。但し、再任をさまたげない。

第4章 会議

第9条

本会の会議は、定例総会、臨時総会、幹事会の3種とする。

- (1) 定例総会は、毎年1回春季に開催し、会計・会務の報告、予算の承認、役員を選出、その他必要な事項を付議決定する。
- (2) 臨時総会は、会長が必要と認めた場合、又は会員の3分の1の申し出がある場合、臨時開催する。
- (3) 幹事会は、第5条第1号から第3号の者をもって構成し、必要に応じて開催する。

第10条

議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。但し、会則の改正は、総会出席者の3分の2以上の同意を要する。

第5章 会計

第11条

本会の経費は、会費、寄付金及び資産から生じる果実をもってあてる。

第12条

本会の会費は、次のとおりとする。

(1) 普通会員

① 第4条(1)①に該当する会員

在学中分	50,000円
2年次編入学生	37,500円
3年次編入学生	25,000円
通信教育課程	10,000円

会費は入学手続き時に、一括して納入するものとする。

② 第4条(1)②に該当する会員 年額 10,000円

会費は、年度初めに受け付けるものとする。但し、申し出により随時受け付けることができる。

(2) 法人会員 年額 30,000円

会費は、年度初めに受け付けるものとする。但し、申し出により随時受け付けることができる。

第13条

本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第14条

本会の資金の管理及び処分に関する必要事項は、総会の決議にもとづき 会長が定める。

第6章 事務局

第15条

本会の業務を処理するために事務局を置く。

2 事務局は、大学に委託する。

第7章 会則の撤廃

第16条

この会則の改廃は、総会の議を経て行うものとする。

付則

1. この会則は、昭和63年12月10日より制定施行する。
2. この会則は、平成3年6月1日より一部改正施行する。
3. この会則は、平成4年6月27日より一部改正施行する。
4. この会則は、平成12年7月1日より一部改正施行する。
5. この会則は、平成15年7月13日より一部改正施行する。